



いざという時困らないための

お葬式豆知識





もしもの事があった場合は、どうしたらいいの？

1 まずは、お近くのJA葬祭にご連絡ください

お近くのJA葬祭はこちらから



- 24時間いつでも、ご遺体を搬送します。(病院～自宅～会館)
- 病院側から葬儀社を紹介される場合は、「JA葬祭」に依頼することを伝えましょう。

2 死亡診断書受け取り

- 以後の諸手続きに必要です。
- ご自宅で亡くなった場合、医師の死亡の確認が必要です。



3 家族・主な親族に連絡

- 肉親や特別な関係の方にお知らせします。



4 日時の打ち合わせ

- 通夜・葬儀・初七日などのスケジュールを相談します。
- お手伝いの方と打ち合わせをします。

5 葬儀内容の打ち合わせ

- 喪主や通夜・葬儀の日時・式場を決定します。
- 葬儀の内容と予算を決めます。
- ※故人の趣味や受賞歴等を調べておきましょう。



6 手続き事項

- 死亡届の手続きをします。



7 死亡の連絡

- 親戚・友人・関係先・隣近所への連絡をします。



8 お通夜の準備・お通夜



9 ご葬儀・告別式



もしもの時の、JA葬祭への電話ではどんなことを聞かれるの？

このようなことを伺います

お亡くなりになった方の「氏名・住所」

お電話いただきました方の「氏名・住所・電話番号」

どちらからお電話していますか？
病院ですか？ご自宅ですか？

病院の場合

〇〇市・町の〇〇〇〇病院〇〇
病棟〇〇階〇〇号室です。

お迎えに伺う場所はどちらですか？
ご自宅ですか？霊安室ですか？病室ですか？

病院の場合

電話前にスタッフに確認しておきましょう。

どちらまでお帰りになりますか？
ご自宅ですか？
JA葬祭の会館ですか？

ご遺族様は、慌てずに事前に
お調べいただきました内容をお話してください。

困らない
秘訣…①

ご遺族様に安心してJA葬祭スタッフをお待ち頂く為にも、
事前に回答を用意しておきましょう。



事前相談ってしておいた方が良いの？

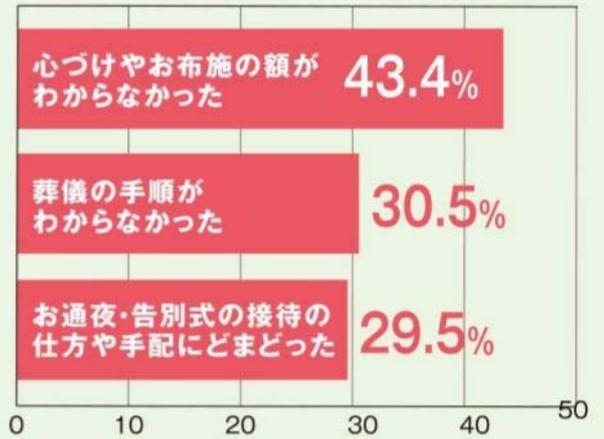
お葬式の知識がない、調べていない人が大多数

公正取引委員会調べ(平成17年度)



葬儀を経験して困ったこと

日本消費者協会調べ(平成19年度)



ほとんどの方が「準備していなかったので慌てて決めてしまった」「早めに相談しておけばよかった」とお葬式で困ったと感じられるようです。

困らない
秘訣…②

大事な人を納得の葬儀でおくるためには、事前相談を活用することで不安を解消しておきましょう。



葬儀費用ってどのくらいかかるの？

葬儀基本費用



+

葬儀付帯費用



+

飲食費用



+

返礼品費用



+

式場費用



+

寺院費用



ここが
ポイント

葬儀費用のチラシでよくある「目立つ部分の安さ」とらわれるのではなく「全体でいくらかかるのか」を知ることが大切です。

何でも
おたずねください

鹿児島JA葬祭チェーンは葬祭ディレクター^{※1}が事前相談を承ります

※1)厚生労働省認定の資格

レベルの高い技能と知識を身につけた葬祭ディレクターが、お客様の「良き葬儀を実現したい」という思いをくみ取り、その実現に協力させていただきます。

施主様のご要望に合わせた内容で
事前相談・
葬儀費用
無料お見積

法事・法要もお任せください

遺されたご家族のこれからのために葬儀後の不安やご負担を減らし、スムーズに生活が始められるようにします。

- ✓ 各種手続きのサポート
- ✓ 仏壇・墓石のご案内
- ✓ 各種法要の手配・ご案内・マナーアドバイス

焼香

仏式

焼香の作法は宗派、地域によって異なります。

※基本の要領



祭壇前の遺族の並ぶ末席まで進み、遺族に向かって一礼します。



焼香のできる位置まで進み、祭壇に一礼します。



右手の親指、人差し指、中指の3指で香を少量つまみ、香炉の中に静かに落とします。



焼香のあと合掌し、深く一礼をします。



遺族に一礼。右まわりして席に戻ります。

数珠は焼香時には
欠かせない物です。
必ず持参
いたしましょう。

玉串奉奠

神式

玉串とは、榊の枝に紙垂(しで)という白い紙片をつけたもので、これを祭壇に捧げて故人の霊が安らかであることを祈ります。



斎主に一礼し、玉串を受け取ります。右手で根元を上からつまみ、枝先は左手で受け取ります。



根元が手前に来るように右回りで回転させます。



持ち手を変え、根元を祭壇に向けます。



玉串を台へ置きます。数歩退き、しのび手(音を立てずに)二礼二拍手一礼をします。遺族に一礼してから下がります。

お香典

お亡くなりになられた方の霊にお供するお香の代わりにお金を包むのが香典です。お通夜と告別式の両方に参列する場合は、最初に弔問した時に差し出すのが一般的です。

不祝儀袋の種類

表書き
「御霊前」
「御香典」
「御仏前」
水引
黒白の結び切り

仏式



表書き
「玉串料」
「御神前」
「御神料」
水引
白か双銀の結び切り

神式



表書き
「御花料」
「御香典」
水引
白無地か花の印刷

キリスト教式



各派共通

「御霊前」は、どの宗教でも使えます。※ハスの花の模様が入った袋は仏式専用です。※仏式でも浄土真宗には使いません。



額とお礼について

1・3・5の奇数を包むのが一般的です。
4と9はさげましょう。
お礼は綺麗なものを、軽く折り目をつけてから包みます

包み方・供え方

① 中包み

住所・氏名・金額(漢数字)を必ず書きます。



② 上包み

上包みの折り返しは上側をかぶせます(慶事と逆)。



③ 表面

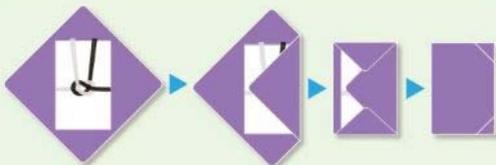
自分の名前を水引の下中央に薄墨の筆ペンか筆でフルネームを書きます。

4名以上の場合

「〇〇有志一同」などと書き、中には中袋とは別に、全員の名前を書いた紙を入れる。



④ ふくさの包み方



⑤ ご香典の供え方

ご香典をご霊前に供えるときは、表書きが自分から読める方にして供えます。



受付で係りの人に渡す場合には逆に、係りの人が読める方向にして渡します。



お通夜・告別式に出られない場合

ご香典を現金書留で郵送します。その際には出席できない理由と、故人様を偲ぶ手紙を添えましょう。

